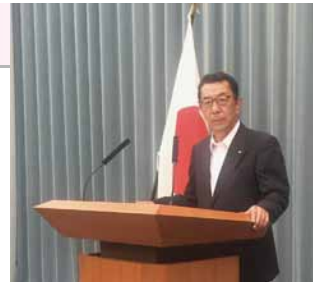


# 吉田康弘市政報告 Vol.12

新年号

発行/吉田康弘 小矢部市 本町3-50 TEL 67-1227 FAX 54-5564  
発行年月/令和3年1月1日 Eメール: shojin@bloom.ocn.ne.jp

## ごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに令和3年の新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた一年でありました。その脅威は未だ収束の様子が見えておらず、ひたすら三密を避け遠出をしないように自衛する日々ではないでしょうか。小矢部市政においても、コロナ対策が焦眉の急となっており、新型コロナウイルス感染の拡大を防ぐ一方で低迷する経済活動の回復を願いながら、対策を講じているところでもあります。

さて、昨年を振り返ると、大型公共施設が次々と完成した年でありました。「大谷こども園」「蟹谷こども園」「市民図書館」「津沢夜高あんどん会館」「小矢部市民交流センター」等相次いで竣工式、開館式が行われ、広く市民の皆様にご利用いただいています。先行して市民サービスの拠点を整備したことの結果ともいえるのですが、市の起債残高も大きく膨れ上がりました。少子高齢化時代に入り、今後は大型施設の建設が困難になりかねないことを思うと、現在の市民生活において先行整備した施設を上手に利用して、「魅力・安心・充実おやべ」に向かって市民生活の質の向上を図り、併せて小矢部市全体が発展するよう努力してゆくことが求められていると考えています。

しばらくの間は厳しい財政状況が続くのですが、議会活動を展開する中において、従来以上に歳入歳出の総点検と、予算の効果的な執行、そして政策全般におけるチェック&バランスを実行してまいります。

本年も「持続可能な自治体経営」を政策理念とし、引き続き小矢部市勢の発展に邁進してまいりますので、皆様のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。



大谷こども園 令和2年2月竣工



蟹谷こども園 令和2年2月竣工



市民図書館 令和2年3月竣工



小矢部市民交流センター 令和2年11月竣工

# 令和元年度 小矢部市一般会計、特別会計、歳入歳出決算

## 各会計別決算状況調

(単位：千円)

区分	一般会計	公共用地会計	国保会計	後期高齢会計	下水道会計	農業集排会計	東部産業会計	計	純計	水道会計
1 歳入	16,624,846	123,343	2,800,409	896,988	2,498,371	174,153	124,300	23,242,410	21,724,409	892,119
うち他会計繰入金等			127,337	504,201	748,065	138,398		1,518,001		69,452
2 歳出	16,472,341	123,199	2,780,547	896,312	2,268,556	151,945	124,300	22,817,200	21,299,199	1,018,591
3 差引額(1-2)	152,505	144	19,862	676	229,815	22,208	0	425,210	425,210	△126,472
4 翌年度へ繰り越すべき財源	18,865							18,865	18,865	
5 実質収支額(3-4)	133,640	144	19,862	676	229,815	22,208		406,345	406,345	△126,472
1 年度末地方債未償還高	18,000,454				12,861,411	765,975		31,627,840		1,912,583
2 年度末債務負担未償還高	4,248,074							4,248,074		
合計	22,248,528				12,861,411	765,975		35,875,914		1,912,583
1 年度末財政調整基金残高	416,363		183,401		51,758	23		651,545		
うち当年度財調基金増減額	△185,590		△33,256		△29,129			△247,975		
2 年度末減債基金残高	25,530							25,530		105,000
3 未処分利益残高										135,065
合計	441,893		183,401		51,758	23		677,075		240,065

## 歳入の内訳(一般会計)

(単位：千円)

区分	令和元年度決算額			構成比
	総額	一般財源	特定財源	
1 市税	4,721,544	4,721,544		28.4%
2 地方譲与税	187,601	187,601		1.1%
3 利子割交付金	4,162	4,162		0.0%
4 配当割交付金	18,876	18,876		0.1%
5 株式等譲渡所得割交付金	10,467	10,467		0.1%
6 地方消費税交付金	559,925	559,925		3.4%
7 ゴルフ場利用税交付金	34,657	34,657		0.2%
8 自動車取得税交付金	26,603	26,603		0.2%
9 地方特例交付金	89,387	89,387		0.5%
10 地方交付金	3,434,946	3,434,946		20.7%
11 交通安全対策特別交付金	3,996	3,996		0.0%
12 分担金及び負担金	76,998	0	76,998	0.5%
13 使用料及び手数料	172,273	8,579	163,694	1.0%
14 国庫支出金	1,952,126	0	1,952,126	11.7%
15 県支出金	973,160	1,806	971,354	5.9%
16 財産収入	120,365	6,738	113,627	0.7%
17 寄附金	34,009	0	34,009	0.2%
18 繰入金	308,415	246,013	62,402	1.9%
19 繰越金	115,998	107,498	8,500	0.7%
20 諸収入	590,140	17,459	572,681	3.5%
21 市債	3,181,400	442,800	2,738,600	19.1%
22 環境性能割交付金	7,798	7,798		0.1%
歳入合計	16,624,846	9,930,855	6,693,991	100.0%

## 令和元年度 地方債現在高調書(各会計別)

(単位：千円)

会計名	平成30年度未現在高	令和元年度元利償還額			令和元年度借入額	令和元年度未現在高
		元金	利子	計		
一般会計	16,101,211	1,282,157	92,072	1,374,229	3,181,400	18,000,454
下水道事業特別会計	12,889,447	903,316	181,230	1,084,546	875,280	12,861,411
農業集落排水事業特別会計	868,139	103,584	19,175	122,759	1,420	765,975
小計	29,858,797	2,289,057	292,477	2,581,534	4,058,100	31,627,840
水道事業計	1,879,580	136,997	24,683	161,680	170,000	1,912,583
合計	31,738,377	2,426,054	317,160	2,743,214	4,228,100	33,540,423

表1 健全化判断比率

	令和元年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	(注)	13.65%	20%
連結実質赤字比率	(注)	18.65%	30%
実質公債費比率	<b>15.2%</b>	25%	35%
将来負担比率	<b>192.6%</b>	350%	

(注) 実質赤字比率、連結実質赤字比率については、実質赤字額、連結実質赤字額がない場合は「-」表示される。

## 目的別歳出の内訳(一般会計)

(単位：千円)

区分	令和元年度決算額			構成比
	総額	一般財源	特定財源	
1 議会費	172,569	172,237	332	1.0%
2 総務費	1,606,071	1,416,102	189,969	9.8%
3 民生費	5,511,794	1,994,743	3,517,051	33.5%
4 衛生費	1,526,345	1,443,971	82,374	9.3%
5 労働費	15,974	974	15,000	0.1%
6 農林水産業費	914,564	377,236	537,328	5.5%
7 農工費	557,002	126,073	430,929	3.4%
8 土木費	1,780,096	1,111,074	669,022	10.8%
9 消防費	543,858	497,905	45,953	3.3%
10 教育費	2,420,154	1,286,215	1,133,939	14.7%
11 災害復旧費	47,893	8,803	39,090	0.3%
12 公債費	1,376,021	1,343,017	33,004	8.3%
13 予備費	0	0	0	0.0%
歳出合計	16,472,341	9,778,350	6,693,991	100.0%

## まとめ

今後の財政運営を展望すると、地方交付税の段階的な縮減や人口減少に伴う市税等の減少により、歳入の縮小は避けられず、歳出においては、喫緊の課題である人口減少対策や少子高齢化対策、それに伴う社会保障関係費の増加、また、公共施設の長寿命化対策等の大型の投資事業費の増加が予想され、厳しい財政状況が続くと見込まれる。

そのため市政全般において、国・県の動向についての情報収集を行い、財源を確保するとともに、収支の均衡を図りつつ、限られた財源の中で最大の効果を挙げられるよう、事務・事業のさらなる適正な執行に努められたい。

本市では、これまで地域経済の活性化や若年層の流入・定着を図るとともに、人口流出や少子化を食い止めるための各種施策を展開してきた。

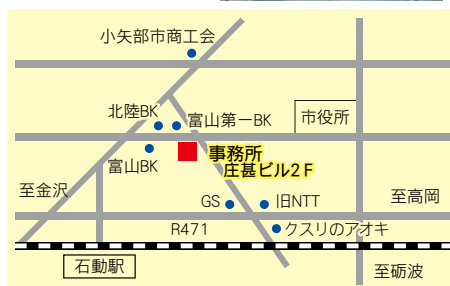
今後とも、目指す都市像である「魅力・安心・充実 しあわせ おやべ」の実現に向けた積極的な取り組みを期待するものである。

## お知らせ

10年前から、市議会議員として下記の場所に事務所を開設致しております。市議会議員としての活動拠点として届出を済ませています。皆様のお越しをお待ち申し上げておりますので、気軽に立ち寄って下さい。

### 吉田康弘 市議会議員事務所

〒932-0057  
小矢部市本町3-50 庄甚ビル2F  
TEL 0766-67-1227  
FAX 0766-54-5564  
携帯 090-3155-3267  
E-mail:shojin@bloom.ocn.ne.jp  
HP:http://yoshida-yasuhiro.net/



## 9月定例会において委員会所属が変更になりました

### 議会内所属委員会

民生文教常任委員会 委員長  
地域活性化特別委員会 委員  
議会運営委員会 委員

### 議会選出委員等

砺波地方介護保険組合議会 副議長  
小矢部市都市計画審議会 委員  
公益財団法人クロスランドおやべ 理事

### 議会内会派 「誠 流」